

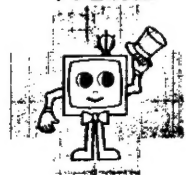
- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

形 名	C25-ST70		
ブラウン管	25形ティントブラウン管		
画面寸法	幅47.8×高さ36.3/対角59.0 (cm) テレビの形(25形等)は画面寸法を表わすものではなく、ブラウン管の外形寸法を基準とした大きさの目安です。		
音声実用最大出力	10W (総合)		
スピーカ	5cm×9cm …… 2個		
電源	AC100V 50/60Hz共用		
消費電力	年間消費電力量 (160kW・h/年) 95W (待機時4W)		
受信チャンネル	VHF 1ch~12ch UHF 13ch~62ch CATV (C13~C35)		
端子	ビデオ1音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ3音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ1映像入力端子 ……1個 ビデオ3映像入力端子 ……1個 ビデオ2音声入力端子(右)(左) ……1個 ビデオ3S映像入力端子 ……1個 ビデオ2映像入力端子 ……1個 AV-BUSⅡ端子 ……1個 ビデオ2S映像入力端子 ……1個 ヘッドホン端子 ……1個		
外形寸法	幅59.6×高さ54.2×奥行48.8 (cm)		
質量	26.5kg		
付属品	リモコン送信機 ……1個 アンテナアダプター ……1個 使用上のご注意(別冊) ……1冊 単3形乾電池R6P(またはSUM-3) 2個 取扱説明書 ……1冊 ご相談窓口一覧表 ……1枚		

●本機は「高調波ガイドライン」適合品です。
「高調波ガイドライン」適合品とは、通産省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

ちょっとしたぬづかいで
テレビの安全



愛情点検



●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用割合により部品が劣化し、故障したり、時には安全を失って事故につながることもあります。

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内蔵に水や異物が入った。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、
コンセントから電源プラグをはずし
必ず販売店にご相談ください。

- 購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名

電話 ()

購入年月日

年 月 日

- 万一故障などでアフターサービス
をお申しつけのときは右の内容を
お知らせください。

形名= (テレビ本体) C25-ST70
(リモコン) C-RA1

症状= できるだけ詳しく
道順= 付近の目印も

株式会社 日立製作所

〒105東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

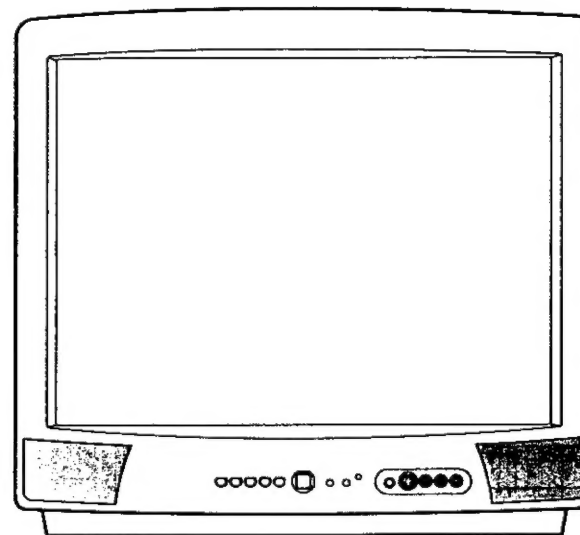
HITACHI

日立カラーテレビ

形名

C25-ST70

取扱説明書



このたびは日立カラーテレビをお求めいただき、まことにありがとうございます。

最初に 別冊の「使用上のご注意」をお読みください。
 本体の取り扱い、この「取扱説明書」をよく
 お読みになり、ご理解のうえ正しくご使用くだ
 さい。
 なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓
 口一覧表とともに大切に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意について	2
本書の見かた	2
お使いになる前の準備	3
各部の名称	4
テレビ放送を見るには	6
CH/セレクトボタンの使いかた	7
音声内容の選びかた	8
ビデオを見るには	9
チャンネル番号などを知りたいとき	9
音を一時的に消したいとき	10
本体で操作するには	10
テレビゲームを楽しむとき	11
映像・音声設定をするには	12
お好みに合わせて設定を変えたいとき	13
自動的に電源を切りたいとき	14
他の機器との接続使用	15
●ビデオとの接続など	15
アンテナ線の接続	18
受信設定について（チャンネル合わせなど）	20
転倒防止について	26
保証とアフターサービスについて	27
故障かな？と思ったら	27
仕 様	裏表紙

はじめに
基本の使いかた
便利な使いかた
設置
ご参考

安全上のご注意について

ご使用前にまず別冊の「使用上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

〈ご使用のまえに〉

絵表示について この取扱説明書（別冊を含む）および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

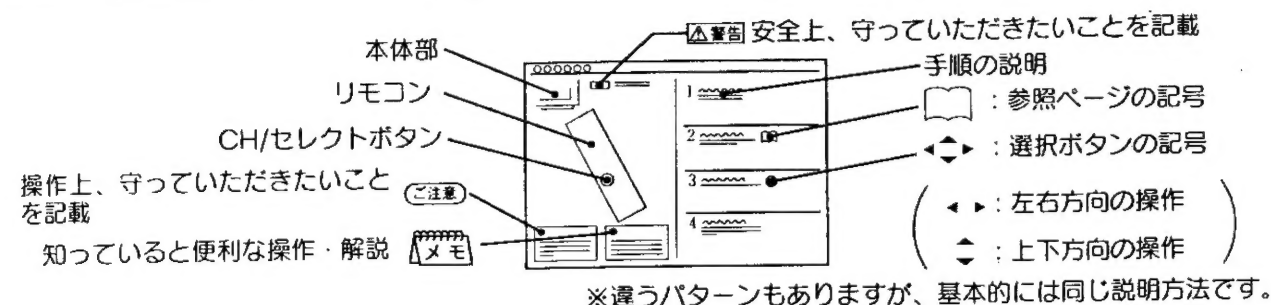
絵表示の例

△記号は警告（注意を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

本書の見かた



お使いになる前の準備

1 アンテナ線をつなぐ 18, 19

注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

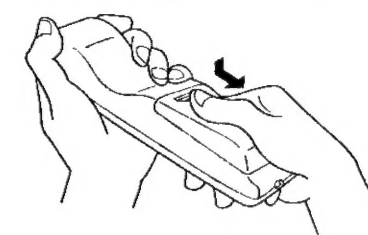
2 お手持ちの機器をつなぐ

豊富な端子群をフルにご活用ください。 15 ~ 17

3 リモコンに乾電池を入れる

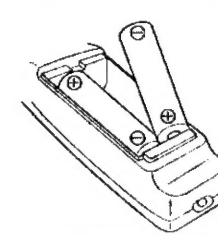
①電池ふたをはずす

電池ふたを押しながら、矢印の方向にずらします。



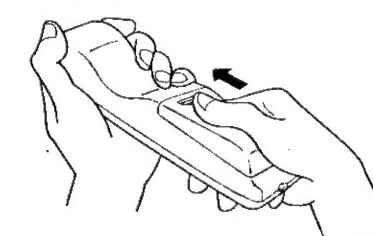
②乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を＋、－の表示どおりに入れます。



③電池ふたを閉める

電池ふたを矢印の方向に押し戻します。



4 電源プラグをコンセントに差し込む

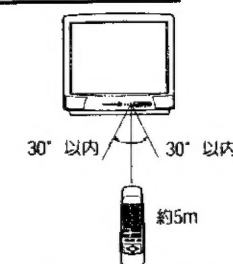
警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

注意

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

リモコンの取り扱い



●リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度では、約3メートルの範囲内をご使用の目安としてください。

注意 リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。

注意 ラジオをお聴きになるときの注意

本機の近くでラジオなどを使用すると、ラジオ放送に受信障害が出る場合があります。本機から離れてご使用ください。

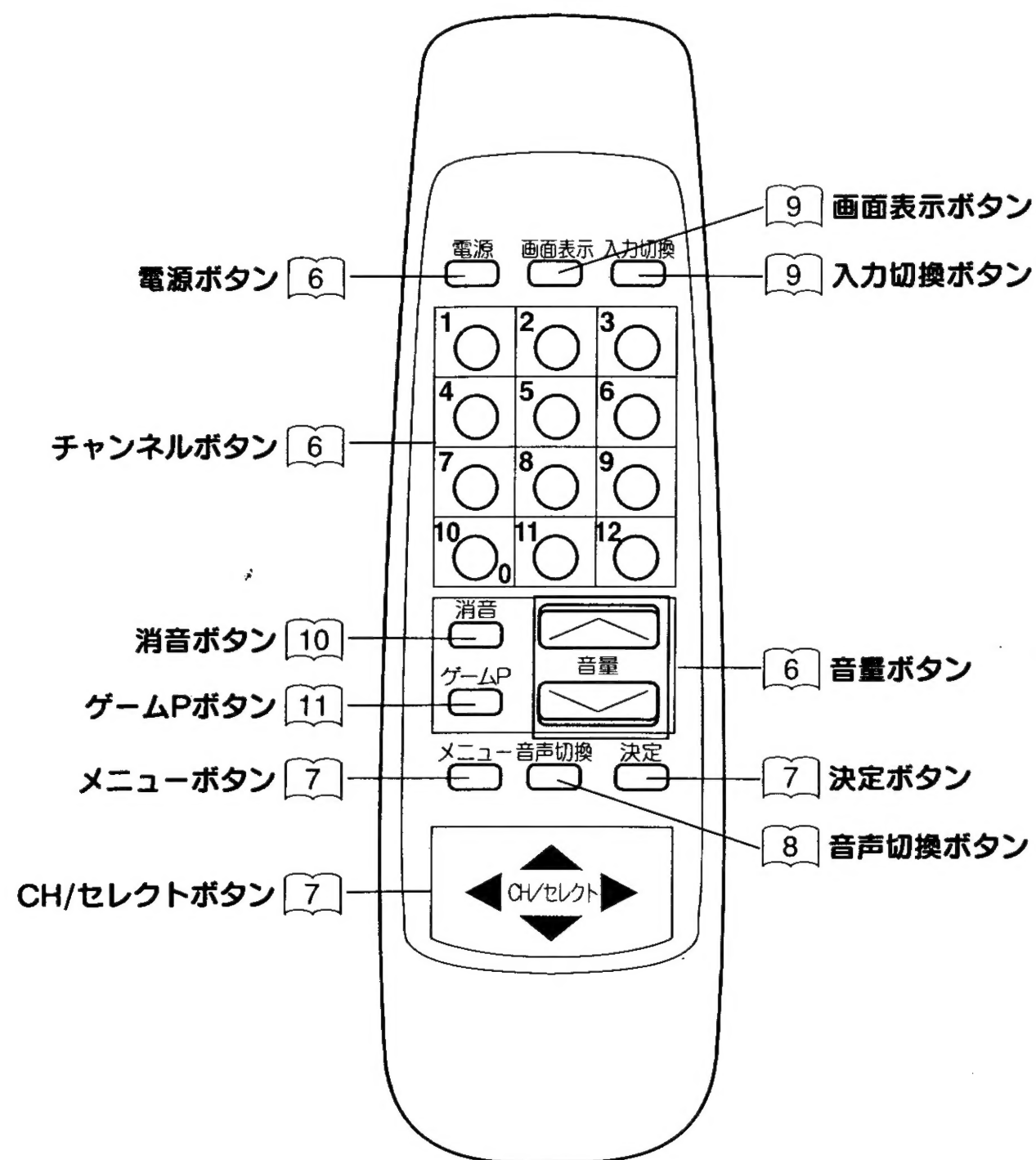
注意 乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス＋とマイナス－の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

各部の名称

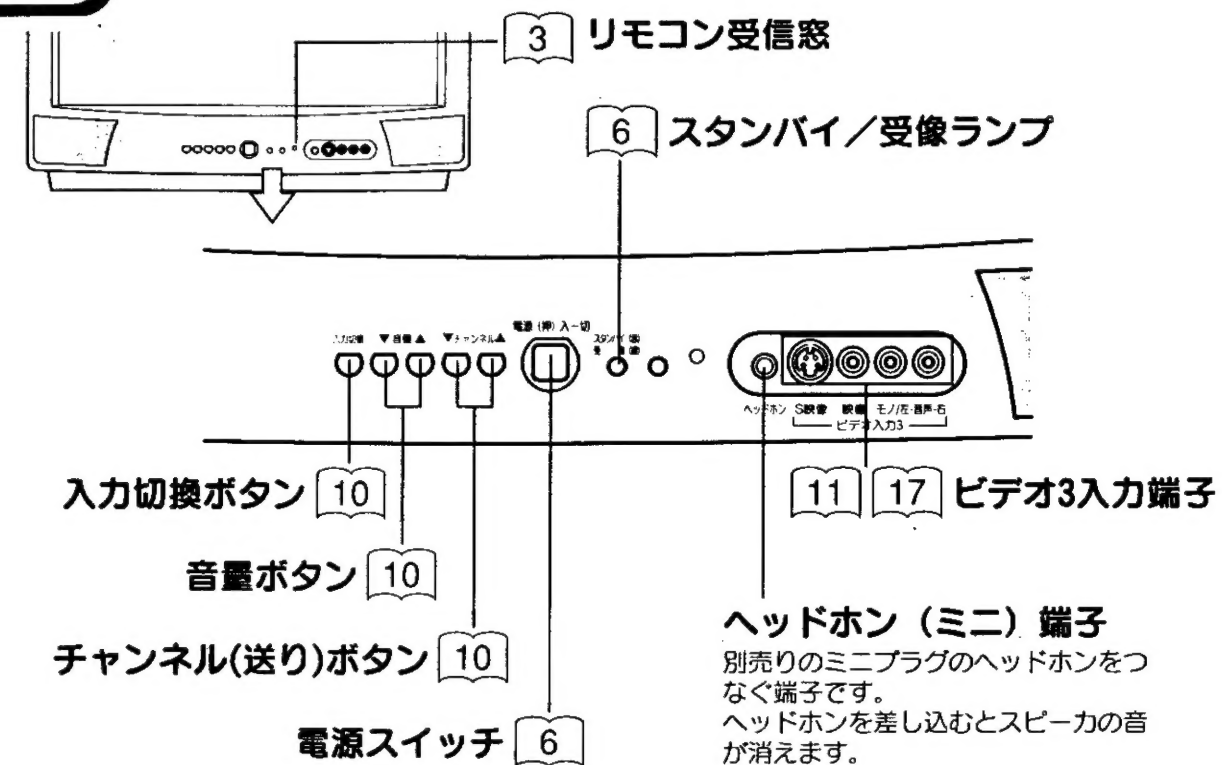
内の数字は、参照ページです。

●リモコン

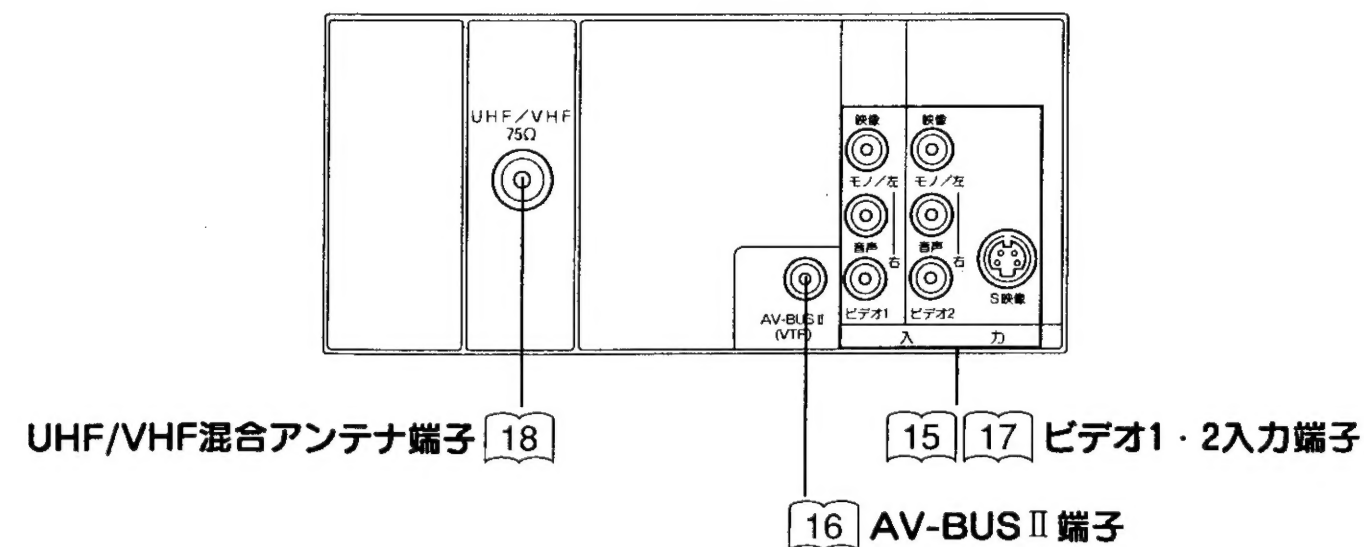


●テレビ本体

前面

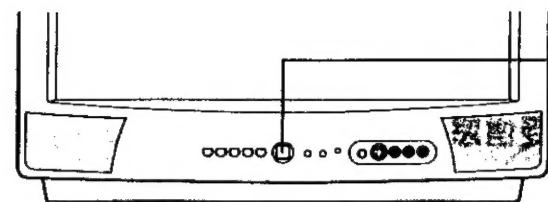


後面



はじめに

テレビ放送を見るには



準備

本体のスタンバイ/受像ランプが消えていると、リモコンでは電源が入りません。
まず本体の電源スイッチを押してください。
このときは、**2**の操作から始めてください。

1 電源を入れる

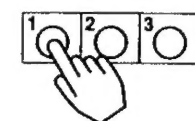
本体のスタンバイ/受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。電源を切るときは、もう一度押します。



6

2 チャンネルを選ぶ (1~12)

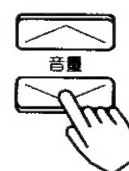
画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
数秒後、表示が小さくなり、画面に残ります。表示を消すこともできます。**9**
選択ボタン \blacktriangle を使って、チャンネルのアップダウン選局もできます。



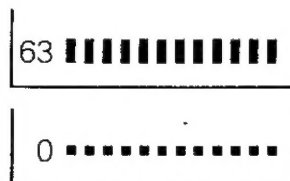
1

3 音量を選ぶ

音量の大きさが数字と ||||| で画面に表示されます。

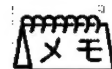


大きくなる
小さくなる



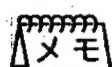
〈最大〉

〈最小〉



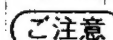
メモ リモコンの操作は

スタンバイ/受像ランプが点灯しているときのみ、リモコンの操作は可能です。
電源を切るときリモコンの電源ボタンを押して切ると、電源の「入・切」もリモコンでできます。



メモ 工場出荷時のチャンネル設定

本機は工場出荷時にVHF1~12チャンネルの12局を設定しています。チャンネルの設定は変更することもできます。**20**

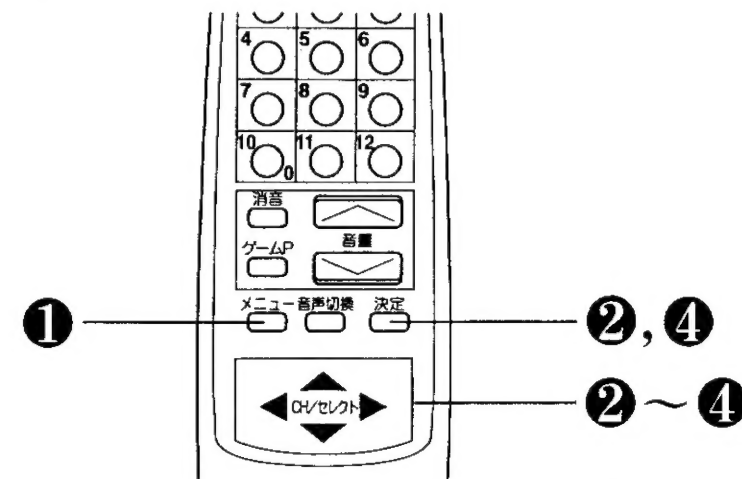


ご注意 動作中に停電になったときのご注意

テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは本体の電源スイッチを切っておいてください。

CH/セレクトボタンの使いかた

本機のリモコンには、矢印 (\blacktriangle \blacktriangledown \blacktriangleleft \blacktriangleright) マークのついた選択ボタン (\blacktriangleleft \blacktriangleright) がついています。この中の \blacktriangle \blacktriangledown ボタンを使って、手軽にチャンネルのアップダウン選局ができます。
また、メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、CH/セレクトボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。



機能設定のしかた

1 メニューボタンを押す

〈メニュー〉画面が現われます。



- 映像設定
- 音声設定
- 他の設定
- タイマー

④で選んで **決定** を押す

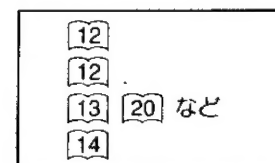
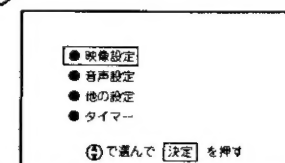
2 \blacktriangle \blacktriangledown で項目を選び、決定ボタンを押す



選んだところが
緑色になります。



設定画面が現れます。



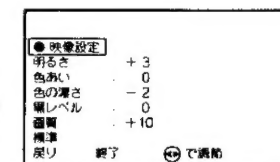
〈画面表示を消すときはメニューボタンを押します。〉

各項目の詳しい説明は、図に示すページにあります。

3 \blacktriangle \blacktriangledown で調節する

\blacktriangle \blacktriangledown で項目を選んで、 \blacktriangle \blacktriangledown で調節します。

● 映像設定を選んだときの
設定画面表示の例



4 設定が終わったら、 \blacktriangle \blacktriangledown で「終了」を選び、決定ボタンを押す

戻り 終了 **決定** を押す

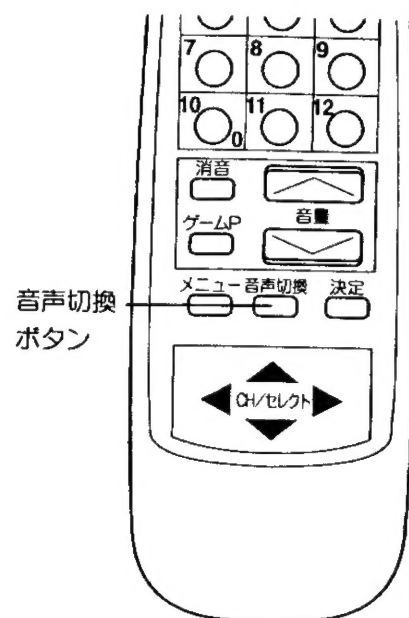


「戻り」を選んだときは、ひとつ前の画面に戻ります。

画面表示が消えて、設定が完了します。
メニューボタンを2回押しても、画面表示が消えます。

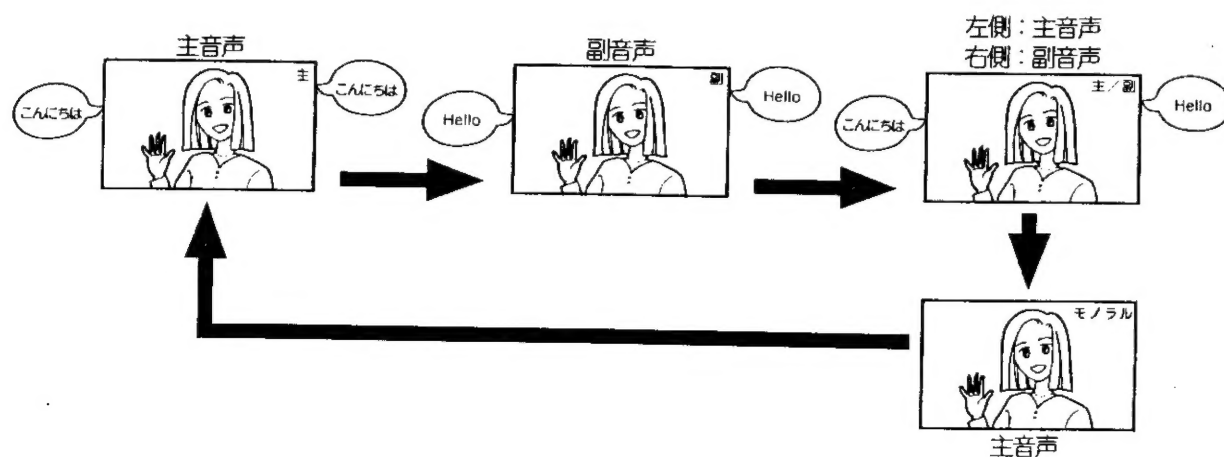
音声内容の選びかた

二重音声放送およびステレオ放送のときには、2カ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。



二重音声放送のとき

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り替わります。



ステレオ放送のとき

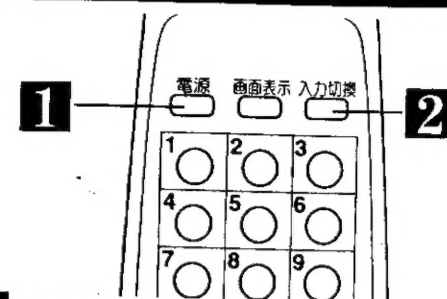
ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
（「主」「副」「主/副」のいずれかに設定しているとき）

- テレビ放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声聞きづらいときは、「モノラル」にすると聞きやすくなります。



- 洋画やニュースなどの2カ国語放送のとき、日本語に吹き替えて送られてくる音声を「主音声」、原語のまま送られてくる音声を「副音声」といいます。
- 放送によっては「主音声」を原語で、「副音声」を日本語で送る場合があります。

ビデオを見るには



準備

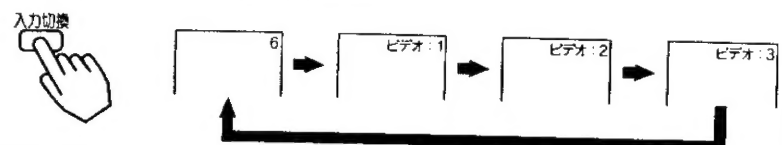
お手持ちのビデオと本機の入力端子を接続します。
接続についての詳しい説明をご参照ください。[15]
日立製AV-BUS端子付と組み合わせると、操作が簡単になります。[16]

1 電源を入れる

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ：1などのビデオ画面になります。）

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り替わります。
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。



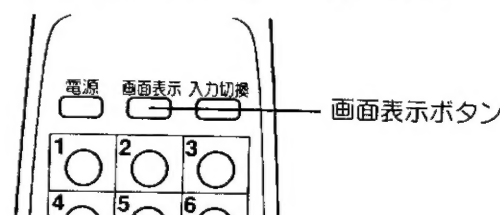
3 ビデオを再生する

ビデオの再生中にテレビを見るには、途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンを押して「テレビ」にするか、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

チャンネル番号などを知りたいとき

画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示され、しばらくすると小さくなります。
表示を消すときは、もう一度押します。



画面表示

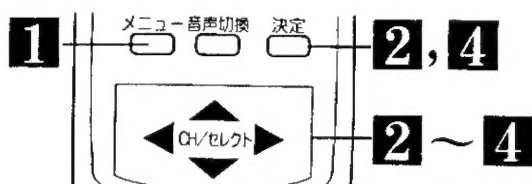
●テレビ放送のとき	●ビデオのとき
4 モノラル放送時(緑)	ビデオ：1 —ビデオ入力番号
4 モノラル指定時(緑)	
4 二重音声放送時(赤)	
4 ステレオ放送時(黄)	

基本の使いかた

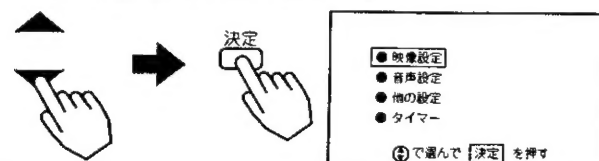
映像・音声設定をするには

映像設定

お好みに合わせて、明るさ、色あい、色の濃さ、黒レベル、画質の調節ができます。



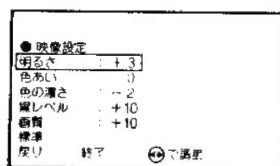
2 上下で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



3 上下で設定したい項目を選び、左右で調節する

映像設定項目	明るさ	色あい	色の濃さ	黒レベル	画質
調整のポイント	暗くなる 明るくなる	赤っぽくなる 緑っぽくなる	色が淡くなる 色が濃くなる	暗い部分がより暗くなる 暗い部分が明るくなる	くっきりした画質になる ふだんは中央で
調整のポイント	周囲の明るさに合わせて見やすく	肌色がきれいに見えるように	お好みの濃さに	黒髪の濃さに合わせて、見やすく	ふだんは中央で

標準を選んで決定を押すと、工場で設定した標準レベルに戻ります。



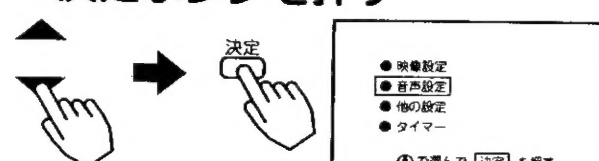
音声設定

お好みに合わせて、高音、低音、バランスの調節ができます。また、ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）の設定ができます。

1 メニューボタンを押す
《メニュー》画面が現れます。

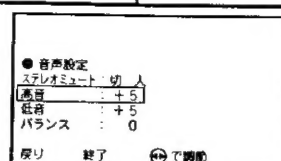


2 上下で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す



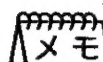
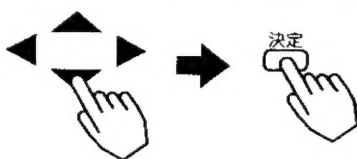
3 上下で調節したい項目を選び、左右で調節する

音声設定項目	ステレオミュート	高音	低音	バランス
調整のポイント	「入」にすると、ドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることが出来ます。（ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。）	高音がおさえられる 高音が強調される	低音がおさえられる 低音が強調される	左スピーカの音が強調される 右スピーカの音が強調される
調整のポイント		高音、低音は-6～+6、バランスは-12～+12までの設定ができます。お好みに合わせて設定してください。一度設定すると、そのまま記憶されます。		



4 上下で「終了」を選び、決定ボタンを押す

●調節後は、チャンネル切換をしたり、電源を切っても記憶されます。



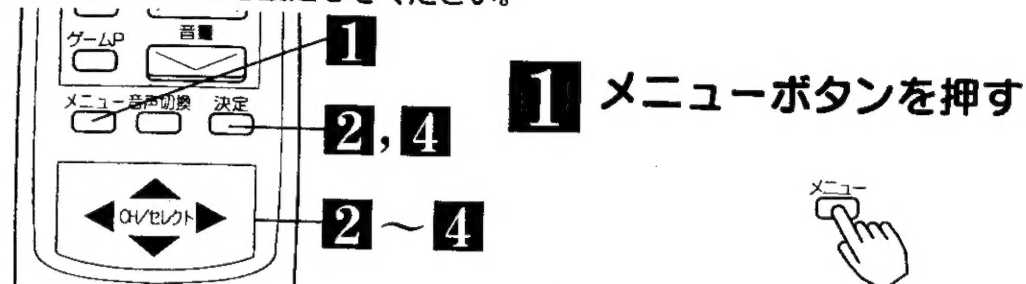
映像設定について

通常時とゲームP時それぞれについて明るさ、色あい、色の濃さ、黒レベル、画質はお好みの画像に設定できます。

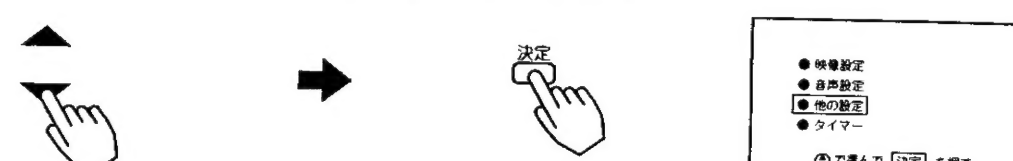
お好みに合わせて設定を変えたいとき

オート電源オフなどの設定ができます。

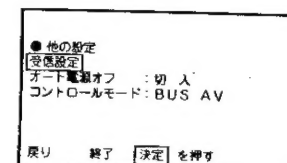
お好みに合わせて設定してください。



2 上下で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

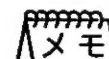
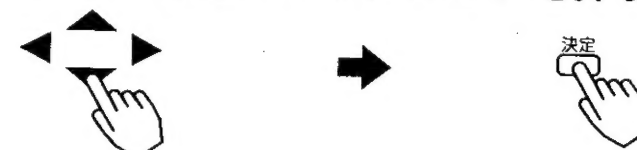


3 上下で設定したい機能を選び、左右で選択する



設定項目	設定のポイント
オート電源オフ	放送終了後、電波が止まったとき自動的にテレビの電源をオフにしたいとき「入」にします。
コントロールモード	日立のビデオと接続するときに合わせます。16

4 上下で「終了」を選び、決定ボタンを押す



設定を変えたときの効果

オート電源オフ

オート電源オフを「入」にすることにより、テレビ、BS放送を見ているとき放送が終了して電波が止まると、約5分後に電源が切れます。ビデオ入力の際は切れません。

コントロールモード

後面のAV-BUS II端子の信号方式が切換わります。日立のAVコントロール、AV-BUS端子付ビデオをお使いのときに、「ビデオを再生するだけでビデオの映像が出る」といった自動機能を確実に働かせるための切換えです。

BUS：AV-BUS端子付ビデオのとき

AV：AVコントロール端子付ビデオのとき

ご注意 オート電源オフについて

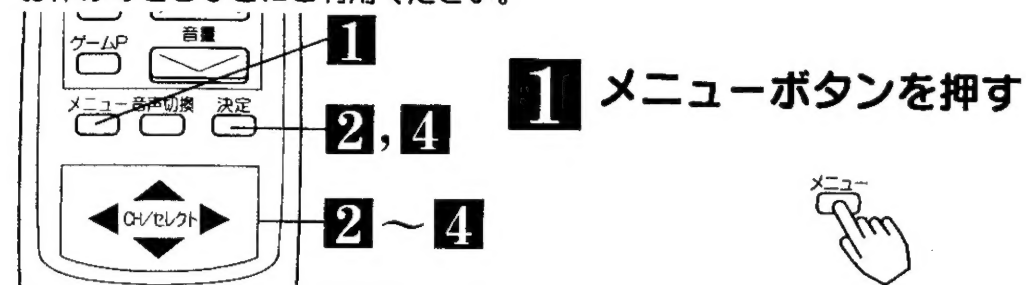
- 電波状態によりオート電源オフ機能が動かない場合があります。
- オート電源オフで電源が切れる前にテレビの操作を行った場合、最後に操作を行った約5分後にオート電源オフ機能が動きます。

便利な使いかた

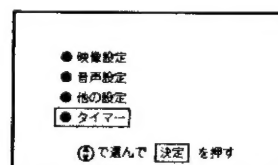
自動的に電源を切りたいとき

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。

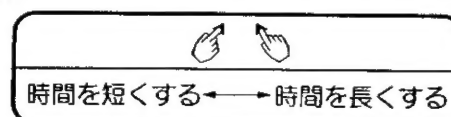
お休みのときなどにご利用ください。



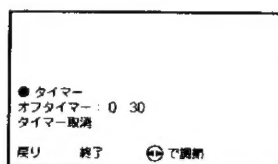
2 上下で「タイマー」を選び、決定ボタンを押す



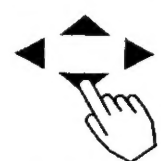
3 左右で時間を設定する



ボタンを押し続けると、10分間隔で時間表示が変わります。
ボタンをチョン、チョンと押すと、1分間隔で時間表示が変わります。



4 上下で「終了」を選び、決定ボタンを押す



5 電源が切れる

設定時間が経過すると電源が切れます。

オフタイマーを確認、解除するには

確 認	解 除
上記 1 、 2 を行います。	① 上記 1 、 2 を行います。
↓	② 左右で「タイマー取消」を選び、決定ボタンを押す。
画面に残り時間が表示されます。	↓
上記 4 で確認を終了します。	オフタイマーは解除されます。
	上記 4 で終了します。

ご注意 オフタイマー使用時のご注意

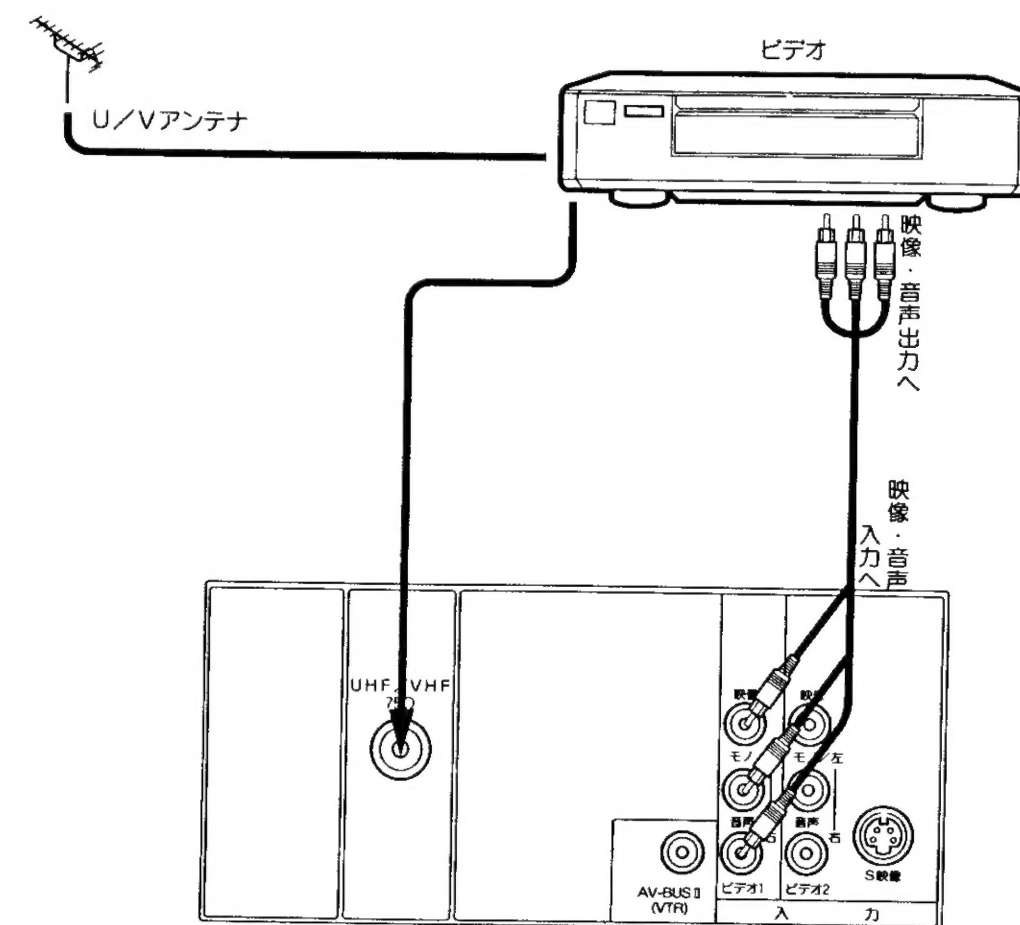
- 電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
- オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。
- タイマー動作は時間を設定したときからスタートします。

メモ オフタイマーの設定範囲について

オフタイマーの設定時間の範囲は、2時間（1分間隔）です。

他の機器との接続使用

ビデオとの接続



使いかた

1 入力切換ボタンで「ビデオ：1」にする

- 画面に「ビデオ：1」の表示が出ます。



ビデオ：1

2 ビデオを操作する

メモ S映像出力端子付ビデオをお持ちの場合

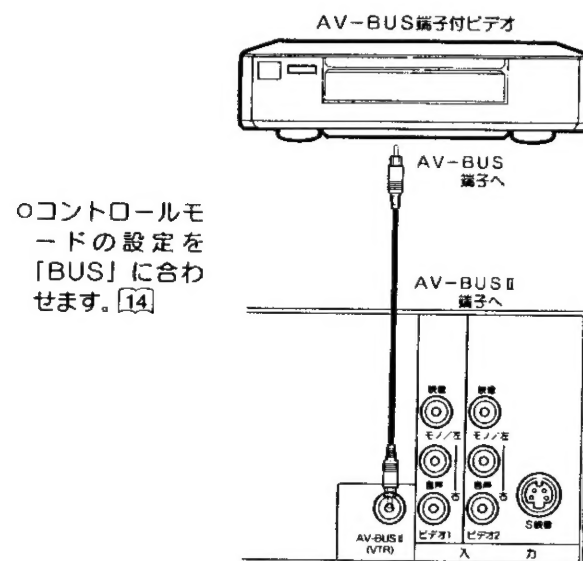
S映像端子は、明るさの信号と色の信号を分けて送る信号用の端子です。お手持ちのビデオにS映像出力端子が付いている場合、S映像コードの接続をされることにより、より良い画質でビデオを楽しめます。このとき、ビデオのS映像出力および音声出力は、本機ビデオ2入力のS映像入力端子および音声入力端子に接続し、入力切換ボタンで「ビデオ：2」にしてビデオを操作してください。

便利な使いかた

他の機器との接続使用 (つづき)

日立のAV-BUS端子付ビデオとの接続

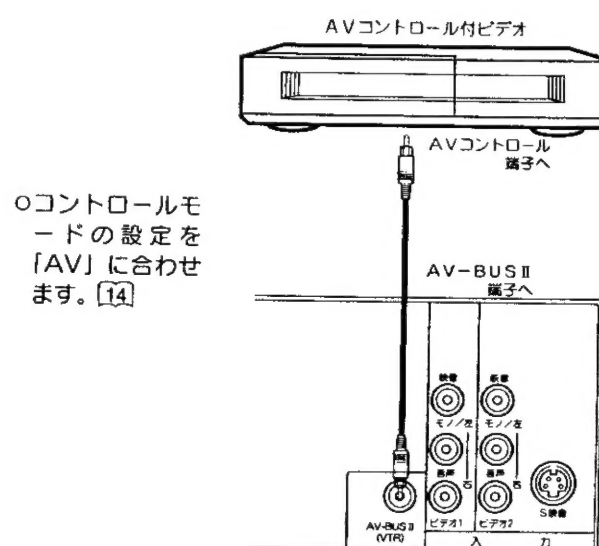
日立のAV-BUS端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの電源の「入・切」と入力を切替えることができます。[15]の接続をした後、下図の接続をします。



コントロールモードの設定を「BUS」に合わせます。[14]

日立のAVコントロール端子付ビデオとの接続

日立のAVコントロール端子付ビデオをご使用になると、ビデオの操作でテレビの入力を切替えることができます。[15]の接続をした後、下図の接続をします。



コントロールモードの設定を「AV」に合わせます。[14]

使いかた

1 ビデオを操作する

ビデオの電源を テレビの電源が入り、入力切替が「ビデオ：1」になり、ビデオ画面になります。

ビデオの電源を テレビの入力切替が「テレビ」に戻って、テレビの受信画面になります。

ビデオのオフタイマー機能を使って、電源を切ると

使いかた

1 ビデオを操作する

ビデオの電源を テレビの入力切替が「ビデオ：1」になりビデオの画面になります。

ビデオ/テレビ切替ボタンで「ビデオ」にすると

ビデオ/テレビ切替ボタンで「テレビ」にすると

電源を切ると テレビの入力切替が「テレビ」になります。

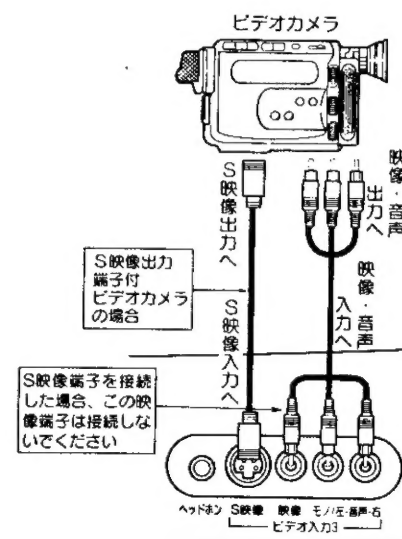
AV-BUS接続時のお願い

- テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- AV-BUS IIは「ビデオ：1」の入力で動作します。

AVコントロール接続時のお願い

- テレビおよびビデオの電源を切ってから接続してください。
- AVコントロールは「ビデオ：1」の入力で動作します。

ビデオカメラとの接続



使いかた

1 入力切替ボタンで「ビデオ：3」にする

- 本体の入力切替ボタンを押しても、「ビデオ：3」に切換えられます。



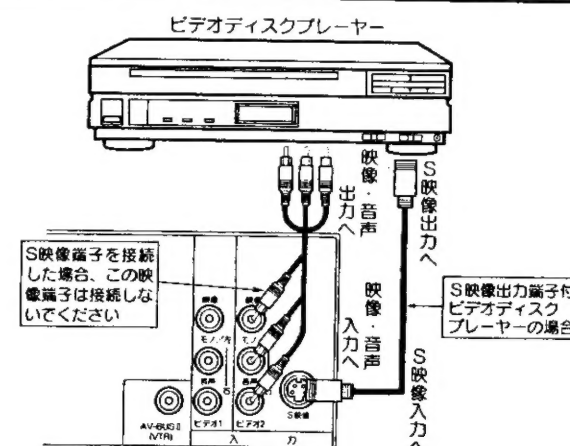
ビデオ：3

2 ビデオカメラを操作する

ご注意

リモコンのゲームボタンでゲームを選ぶと、ビデオ3入力はゲームモードとなります。入力切替ボタンでビデオ：3に切換えてください。

ビデオディスクプレーヤーとの接続



使いかた

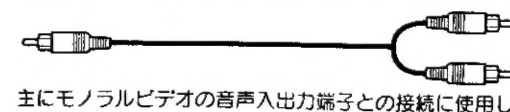
1 入力切替ボタンで「ビデオ：2」にする

2 ビデオディスクプレーヤーを操作する

接続はビデオ1,2,3入力のいずれでも接続できます。
(ビデオ1,3に接続したときは、それぞれ入力切替ボタンで「ビデオ：1」「ビデオ：3」を選んでください。)

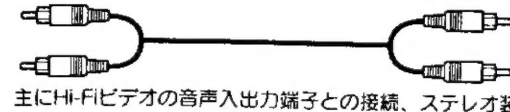
システムアップに必要な接続コード (別売り)

- 音声信号入出力接続コード HPU-141AV(コード長1.5m)



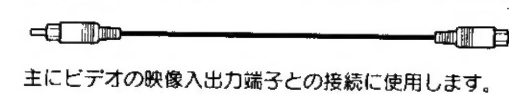
主にモノラルビデオの音声入出力端子との接続に使用します。

- 音声信号入出力接続コード HPU-121(コード長1.5m)



主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続、ステレオ装置との接続に使用します。

- 映像信号入出力接続コード HPU-131AV(コード長2m)



主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

- 映像・音声信号入出力接続コード HPU-200AV(コード長2m)



主にHi-Fiビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

ご注意 接続時のご注意

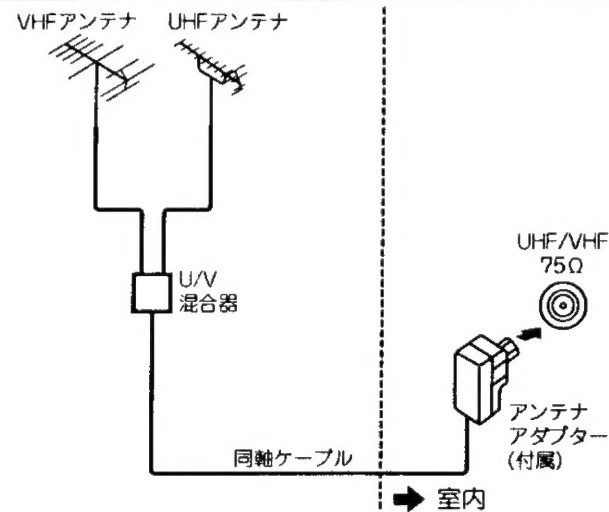
- 他の機器と組み合わせてご使用になるときは、それぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。
- 接続の際は各機器の電源を切ってから行ってください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となることがあります。
- 他の機器との接続時、入出力端子をまちがえて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ビデオ2,3入力のS映像端子と映像端子は、画質が低下しますので同時に接続しないでください。必ず、どちらか一方のみを接続してください。

便利な使いかた

アンテナ線の接続

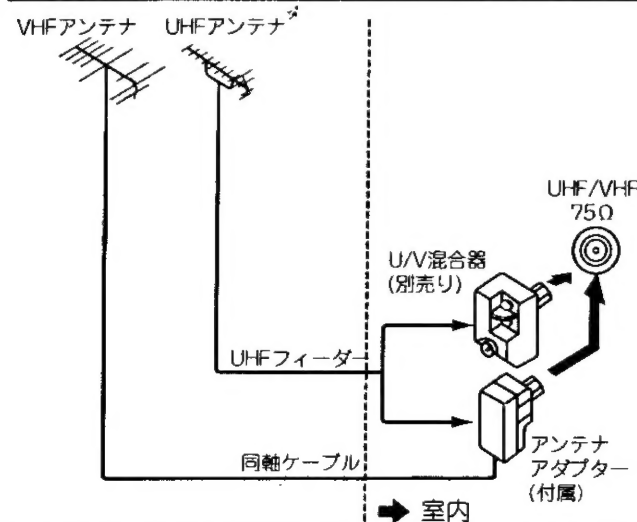
UHF/VHFアンテナ線の接続

UHF/VHFアンテナが混合のとき



- 1 アンテナアダプターをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する

UHF/VHFどちらか一方のとき



- 1 アンテナアダプターまたは、U/V混合器（別売り）をUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する

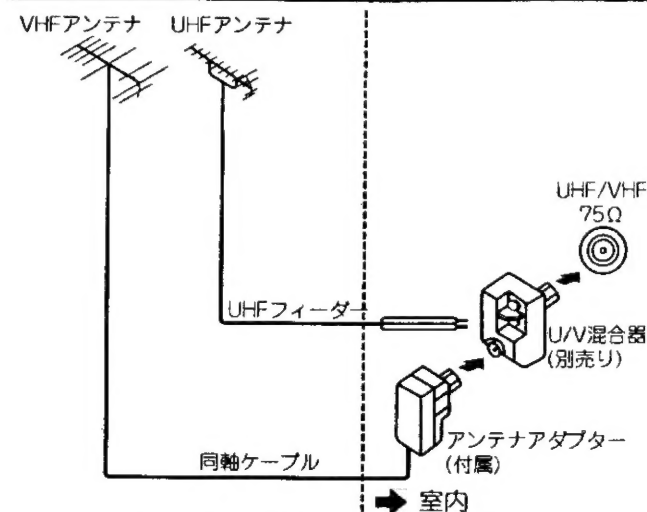
メモ アンテナアダプターについて

同軸ケーブルやUHFフィーダーにアンテナアダプターなどが接続されていないときは、19を見て接続してください。

注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。

UHF/VHFアンテナが独立のとき



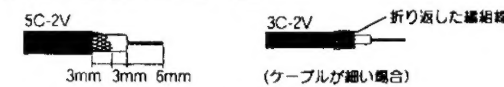
- 1 U/V混合器にUHFフィーダーを接続する
- 2 アンテナアダプターにVHF同軸ケーブルを接続する
- 3 U/V混合器（別売り）にアンテナアダプターを接続し、UHF/VHF混合アンテナ端子に接続する

ご注意 アンテナ線接続時のご注意

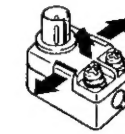
- アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
- 平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が見えたりします。
- 室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
- アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

アンテナアダプターと同軸ケーブルの接続

1 先端を加工する



2 ふたをあける



3 ビニール線を切断する



※ツメに接続されているビニール線（2本共）を切断する

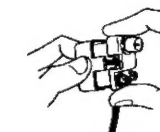
4 同軸ケーブルを取付ける

ペンチで固定する



しん線をこの溝に挿込む

5 ふたをしめる

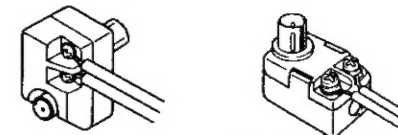


UHFフィーダーの接続

1 先端を加工する



2 U/V混合器(別売り)、またはアンテナアダプターに接続する



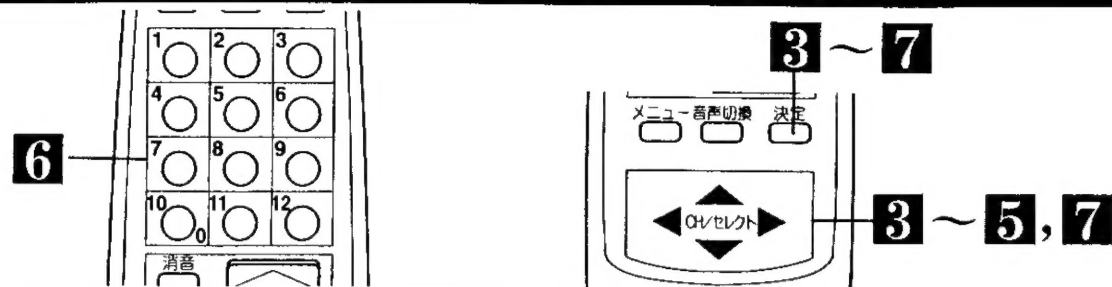
UHF/VHFアンテナが独立のときは、U/V混合器（別売り）に接続してください。

- UHFフィーダーはUHF専用のものをご使用ください。

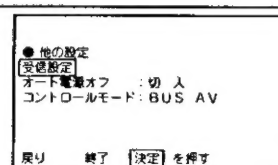
（VHF平行フィーダーなどで、代用されますと、画質が悪くなります。）

21

受信設定について (つづき)

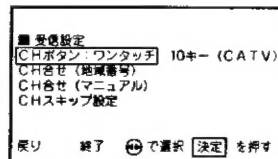


3 上下で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

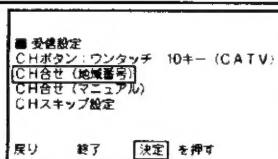


4 上下で「CHボタン」を選び、左右で「ワンタッチ」を選択し、決定ボタンを押す

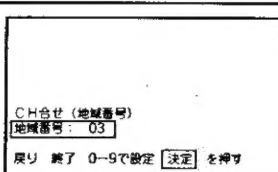
(注)10キー(CATV)を選択していると、CH合せ(地域番号)の設定は使用できません。
CH合せ(地域番号)の表示が消えます。



5 上下で「CH合せ(地域番号)」を選び、決定ボタンを押す



6 チャンネルボタンで地域番号を設定し、決定ボタンを押す

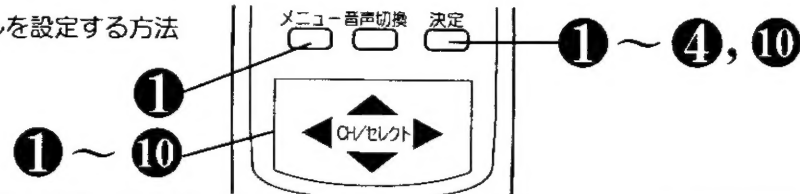


7 左右で「終了」を選び、決定ボタンを押す

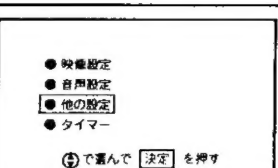
チャンネルの合わせかた (マニュアル)

地域番号一覧表に記載されていない地域や、地域番号によるチャンネル合せ後にその他のチャンネルを追加したい場合に、チャンネルを設定することができます。

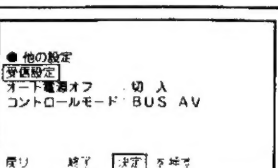
例) リモコンの⑤の位置にUHFの42チャンネルを設定する方法



1 メニューボタンを押し、上下で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

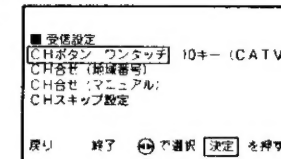


2 上下で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

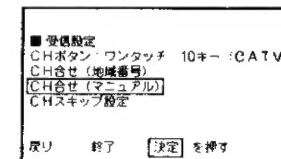


3 上下で「CHボタン」を選び、左右で「ワンタッチ」を選び、決定ボタンを押す

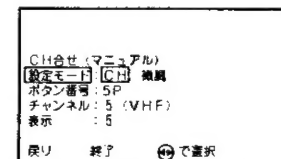
- 工場出荷時は、「ワンタッチ」に設定されています。
- ワンタッチ：1回だけボタンを押せば選局できます。
- 10キー：2桁の数字で選局できます。



4 上下で「CH合せ(マニュアル)」を選び、決定ボタンを押す

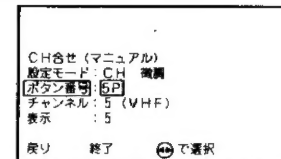


5 上下で「設定モード」を選び、左右で「CH」を選択する

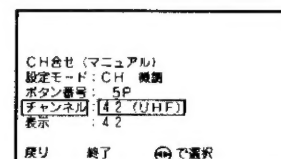


6 上下で「ボタン番号」を選び、左右で「5P」を設定する

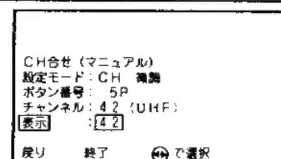
- 最初は現在の受信チャンネルボタンが表示されます。



7 上下で「チャンネル」を選び、左右で「42」を設定する



8 上下で「表示」を選び、左右で「42」を設定する



9 設定したチャンネルで、微調したい場合は上下で「設定モード」を選び、左右で「微調」に設定する
上下で「チャンネル」を選び、左右で同調をずらし微調する

複数のチャンネルを変更する場合

⑤～⑨の操作をくり返します。

10 左右で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メモ CATV(ケーブルテレビ)について
CATVはUHF62チャンネルとVHF1チャンネルとの間で設定できます。→VHF1～12 → UHF13～62 → CATV13～35

●CATVの受信は、サービスの行われている地域でのみ可能で、CATV会社との契約手続きが必要となります。詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

メモ 「CH」「微調」の選択について
●⑤の操作のときに左右を押すと、選局モードが「CH」のように変わります。
「CH」：チャンネルを切り替える場合に使います。
「微調」：電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合に使います。

受信設定について (つづき)

10キー方式について

CATVをご覧になる場合に、チャンネルが12局を超えるときは、10キー(CATV)を選択します。VHFおよびCATV(C13~35)を①~⑩ボタンで選局することができます。

10キー方式でチャンネルを選ぶときは、リモコンCHボタンは、次の意味となります。

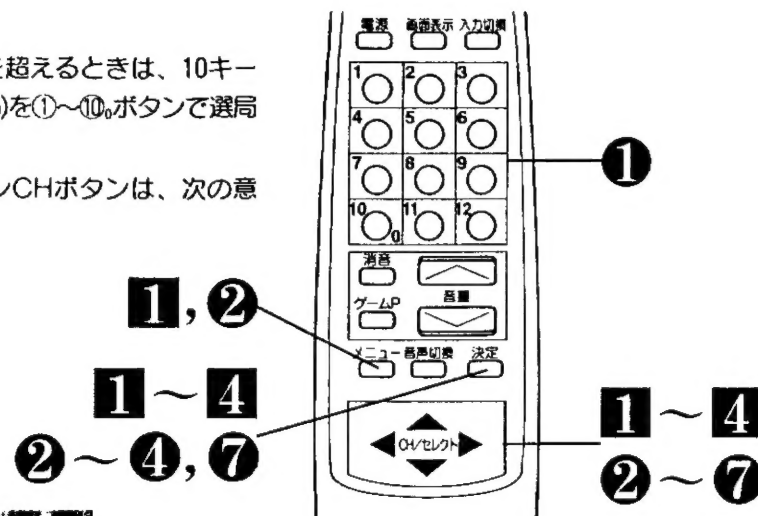
① ~ ⑨ ……数字の1~9

⑩ ……数字の0

例) 7チャンネル ……⑩, ⑦

12チャンネル ……①, ②

CATV C35チャンネル ……③, ⑤

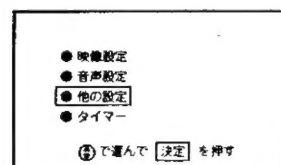


【ご注意】 10キーモード時のご注意

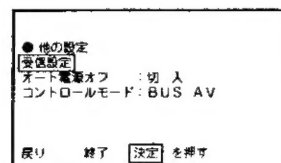
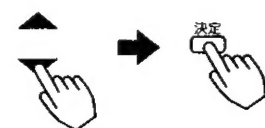
- 10キー (CATV) を選択しますと、UHFを受信することはできません。
- 「CH合せ (地域番号)」は設定できません。

10キー方式にかえる場合

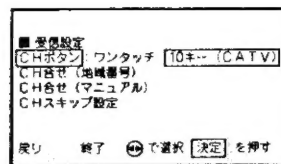
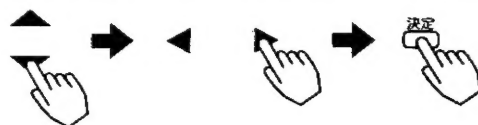
1 メニューボタンを押し、 \uparrow で「他の設定」を選び、決定ボタンを押し



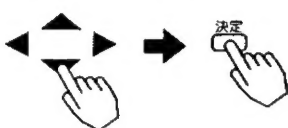
2 \uparrow で「受信設定」を選び、決定ボタンを押し



3 \uparrow で「CHボタン」を選び、 \leftarrow \rightarrow で「10キー (CATV)」を選択し、決定ボタンを押し



4 \leftarrow \uparrow \rightarrow で「終了」を選び、決定ボタンを押し

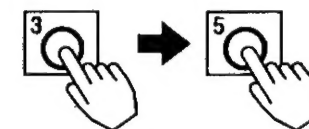


微調する場合

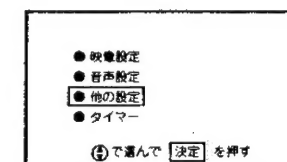
電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合には、チャンネルの同調を微調節します。

例) C35チャンネルを微調したいとき

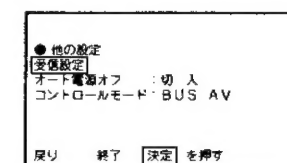
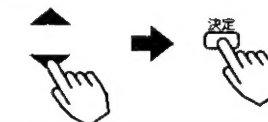
1 微調したいチャンネルボタンを押し



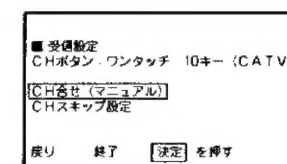
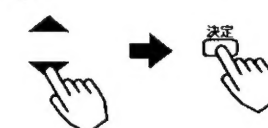
2 メニューボタンを押し、 \uparrow \downarrow で「他の設定」を選び、決定ボタンを押し



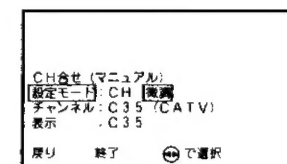
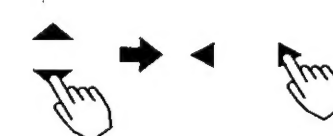
3 \uparrow \downarrow で「受信設定」を選び、決定ボタンを押し



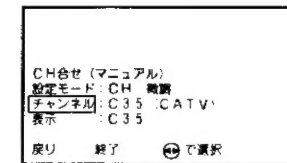
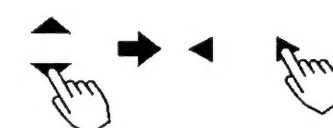
4 \uparrow \downarrow で「CH合せ (マニュアル)」を選び、決定ボタンを押し



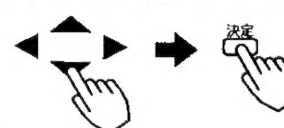
5 \uparrow \downarrow で「設定モード」を選び、 \leftarrow \rightarrow で「微調」を選択する



6 \uparrow \downarrow で「チャンネル」を選び、 \leftarrow \rightarrow で「微調」する



7 \leftarrow \uparrow \rightarrow で「終了」を選び、決定ボタンを押し



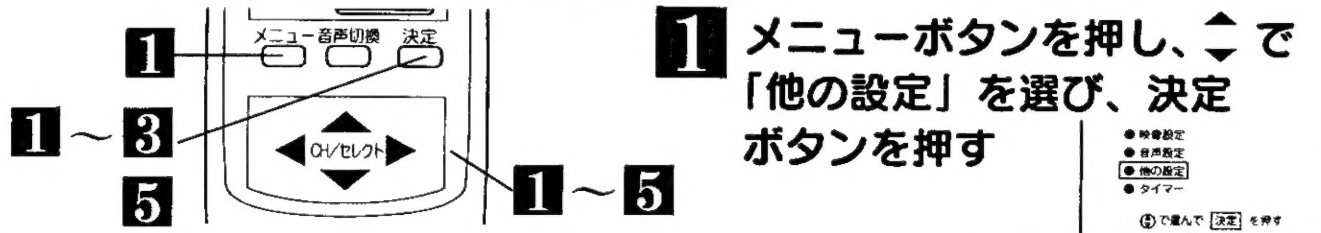
複数のチャンネルを変更する場合 ①~⑦ の操作をくり返します。

受信設定について (つづき)

空きチャンネルの飛び越し選局

本体のチャンネルボタン、リモコンの選択ボタンで選局するとき、空きチャンネルを自動的に飛び越し(スキップ)して早く選局できます。

例) リモコンの「12」のチャンネルボタンを飛び越したいとき



2 上下で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

3 上下で「CHスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す

4 上下で「12P」を選び、左右で「スキップする」を選択する

複数のチャンネルを飛び越しする場合

1の操作をくり返します。

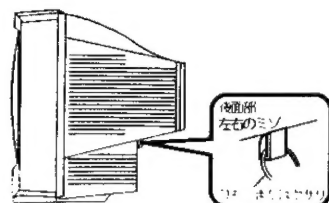
5 決定ボタンを押し、左右で「終了」を選び、決定ボタンを押す

メモ 10キーモード時の空きチャンネルの飛び越し選局について
10キーモードを選んだ場合も、ワンタッチモードと同じように空きチャンネルの飛び越し選局を設定することができます。
工場出荷時、C13～C35チャンネルは、「スキップする」に設定されています。

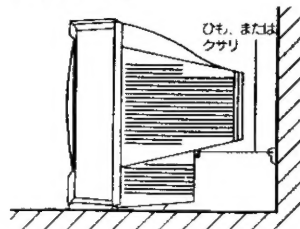
転倒防止について

注意 ブラウン管(前面)は重いので安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

1 テレビを固定してご使用いただく場合には、図のようにセット後部のミゾをご利用ください。



2 ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱等をお選びになり、しっかりと固定してください。



3 専用のテレビ台(別売り)との固定は、テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。(ただし、ブラウン管のみは2年間です。)
- なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
- 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理を依頼される前に、「故障かな?と思ったら」の項に基づいてお調べいただき、それでも具合の悪いときはご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

転居後のアフターサービスについて

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の保有期間について

テレビの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

メモ CATV(ケーブルテレビ)について

CATVは、サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが必要です。また、スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、アダプターの使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

電源プラグがはずれていたり、アンテナ線がはずれていたりしているとテレビの故障とまちがえることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。

このようなときは…	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画面が出ない音も出ない	外部機器接続端子位置と入力切換ボタンの切換え位置の不一致。	入力切換位置を合わせてください。	9
画面は出るが音が出ない	①音量調節がりになっている。 ②消音ボタンを押している。	①音量ボタン(△)を押してみてください。 ②もう一度消音ボタンを押してみてください。	6 10
カラー番組のときに色がでない	色の濃さの調節がー(淡)側いっぱいになっている。	映像調節で色の濃さを調節し、+にしてみてください。	12
画像が2重3重にうつる(ゴースト)	近くに山や大きな建物、樹木がある場合、反射電波によって起こる。	①ビルが建つ等、周囲の状況についてお調べください。 ②アンテナの向きがずれていないかお調べください。	
雪が降っているような画面になりハッキリしない(スノーノイズ)	アンテナの向きが正しくないことが考えられます。 アンテナ線がはずれている。	アンテナの向きがずれていないかお調べください。 セット後面のアンテナ端子板の接続端子をお調べください。	18
リモコンでテレビが操作できない	①リモコン送信機の乾電池の+・-が逆に入っている。 ②リモコン送信機の乾電池の寿命がなくなっている。	1 乾電池を正しく入れてください。 2 乾電池を新しいものに交換してください。	3
画像に色ムラが出る	明るさの調節が+ (明) 側いっぱいになっている。	映像調節で明るさを調節し、-にしてみてください。	12
「ピシッ」と音がる	冷暖房などの室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。		
テレビの向きを変えると画面に色ムラが発生したり、傾きが大きくなる	テレビの向きを変えてご覧になった場合は、地磁気の影響を受けるため画面に色ムラが出たり、南北の向きでは傾きが大きくなる場合があります。(故障ではありません。)電源を「切」にしてから、約1時間後にご覧になる向きで電源を「入」にしますと、自動消磁回路が働いて色ムラは軽減されます。		

注意 アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

参考